

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 2月 1日				
保育所等訪問支援事業所つくしんぼ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	1	・対象児に対して作成された教材も後に広く使用できるようにしているで教材も増えていく流れになっている ・対象児童の状況に合わせて定期的な見直しが必要	利用児に合わせて用意していくことが基本であると考えています。たくさん用意されている教材を上手に使い、必要な時に必要な教材を提示できるようになっています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・希望者に十分対応できているとは言えない	職員一人当たりの概ねの担当数を決め、年度の途中で担当者を組み替えながら、最大限の要望にお応えしている。また、支援・制度の利用前の園や保護者からの相談にも対応し、関係機関との連携強化にも努めている。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・実施しているが十分とは言えない	業務改善のために、事業所としてPDCAを活用しておらず、それぞれの職員の状況に応じて対応している。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・出された意見をどの様に活用していくと話し合っていない必要がある	今回初めて「保護者向け評価」を実施したため、今後の業務改善につなげたい。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・出された意見をどの様に活用していくと話し合っていない必要がある	支援内容に関する意見や相談は、職員間の会議や学習会等で共有できることになっている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・出された意見をどの様に活用していくと話し合っていない必要がある	第三者評価は実施していない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・それぞれの職員の意識による	外部研修を受講する機会は、職員一人当たり年1回は確保している。また、事業所内で学習会を開催している。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	1	・実施しているが十分ではない	アセスメントには、事業所内の所定のシートを使い実施している。また、訪問先での様子、保護者からの聞き取りをもとに計画を作成し、十分機能していると考えています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	・実施しているが十分ではない	児童発達支援管理責任者と訪問支援員が情報を共有し、インフォーマルなアセスメントを中心に随時状況を確認しながら支援の実施に当たっている。子どもにとっての最善を訪問先でどのように、どの程度表現していただけるか、現実的に検討し進めるよう心掛けている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5		・訪問時に聞き取っている	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・会議の場で共有しているが十分ではない	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・フォーマルなアセスメントは保護者から検査の結果を共有していただいている	フォーマルなアセスメントは実施していない。日々の変化の把握が非常に重要であると考え、訪問先での様子、訪問先職員からの聞き取りを重視し、それに合わせて支援内容の調整を行うようにしている。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・定期的に見返している	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・全員で共有できていたとは言えない	利用児を担当している児童発達支援管理責任者、訪問支援員ができるようになっている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・役割や時間の使い方については事前に決めている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・訪問時の様子（気になった事など）を伝えていますが十分実施できていない	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		・訪問開始前に聞き取りを行っている	支援開始前、支援開始後、訪問先の管理職、担当者との情報共有の中で、園の考えを把握、理解するようにしている。また、支援内容について提示、提供できるものを示し、取捨選択は訪問先に任せることもある。
関係	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		・次回の訪問時に役立つよう心掛けている	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	・モニタリングのみとなっている可能性はある	モニタリングの時期を確認し、実施の後、計画の見直しは実施している。計画の変更、修正が必要であれば実施することになっている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・対象児童の担当者が出席している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・訪問先の機関にとどまっている	高崎市内、全幼稚園、保育園、子ども園にアンケートを実施し、増えていると言われる気になる子の在籍状況等を把握するよう努め、支援を必要としている園を事業所からの働きかけによりつなげることができるよう努めている。また、一部医療機関へ事業所に関するパンフレットを配布し、事業の周知を図っている。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・会議の場に出席はしている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	2	・子ども発達支援センターの心理士に意見を求めることはしている	療育技術の向上のために、外部研修への参加は積極的に実施しているが、外部機関からの助言は想定していない。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	1	3	・参加していない	協議会の子ども部会は開催されていない。子ども子育て会議は参加依頼は来ない。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・訪問時に報告の連絡を行っている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・市や保護者会が開いている研修の情報は伝えているが不十分	つくし園が実施している。保護者ミーティングへの参加を促し、具体的な生活場面での課題の共有、課題解決のためのプロセスの検討を通じて、子どもの理解が進むこと、必要とされる支援について保護者と共に考えられるように対応を図っている。
	保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・読み合わせを行っている
28		訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		・サービスについての説明を行っている	特に新規で利用を開始される訪問先については、訪問支援を行うことの意味や方法、訪問先の負担等について説明している。訪問先、保護者、事業所の3者の関係で動く事業になることから、訪問先と保護者の考え、思いに乖離が生じないように心掛けている。
29		保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	・書類への記入依頼や面談時に確認をしている	
30		「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		・説明の機会を設けている	
31		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		・訪問した際の報告で聞き取りを行っている	
32		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	・実施できていない	
33		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	・現在は電話やメッセージでのやり取りが主となっている	電話での対応が多いが、希望があった場合に迅速に相談対応している。また、園から利用者ではないが、「保護者が相談を希望している。」と言う声に応え園に出向き相談対応することも多くなっている。
34		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	3	・実施できていない	活動の概要は、訪問毎の報告においてお伝えしている。それぞれの子、それぞれの園の様子がお伝えできれば十分であると考えている。少なくとも月に1回は保護者と情報伝達、共有をする機会は確保できている。
35		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・データや個人ファイルを保護には配慮をしている	
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・行っているが十分ではない	必要に応じて実施している。
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	1	・行っているが時間の確保が課題である	訪問先からも、訪問先ではないところからでも相談の依頼があれば積極的に対応するようにしている。逆に訪問の際にタイミングを見ながら訪問先に声掛けをし、他に困っていることはないかなど確認するように心掛けている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		・毎回ではないが学期に一度など相談の上行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		・電話での報告をする際行っている	訪問頻度や保護者の就業状況により、保護者への連絡の頻度も変わってくるが、月に1回は訪問支援の実施状況の共有を行っている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・管理には注意をしている	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	1	・行っているが十分できていない	
非 常 時 等 の	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・法人内で整備している	各マニュアルは作成済みで、職員には周知済み。保護者への周知の方法の確立が難しい。訓練、研修は母体施設と共同で実施している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・基本は訪問先のマニュアルや指示に従う	安全計画も作成済み。訓練、研修は、母体施設と共同で実施している。訪問時については、訪問先の指示に従って行動することが基本と考えている。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2	・十分行うことができていない	

対応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	・委員会を設置している	指針、マニュアル、委員会が母体施設と共同で設置され、研修なども実施されている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・重要事項説明書と契約書に記載している	